

Ein Prosit, der Gemütlichkeit.



上田亜紀子+ヴォルフガング・ヘルツレ



合唱団「アムゼル」 指揮：梶井智子

おつまみのメニュー

ソーセージ盛り合わせ

ジャーマンポテト

ドイツ風パン

チキンカツ

ミートローフ

フリースドリンク

日時 **9月13日** (日) 午後6時30分開演 (午後6時開場)

会場 藤沢市民会館 - 第1展示ホール (藤沢駅下車徒歩8分)

主催 湘南日独協会

後援 江ノ電沿線新聞社

協賛 ドイツ観光局/藤沢市民会館サービスセンター

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL.11. NO.5. 通巻65. 発行 2009.9.13.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

ショータイム プログラム

オープニング演奏 アルペン・ホルン演奏 (鬼久保 洋司)

ステージ1 ●合唱 湘南日独協会合唱団アムゼル

独唱及び指揮 梶井 智子 ピアノ伴奏 内海 祥子

1. 「...und mir ein Liedlein gesungen」

「ジルヒャーによる合唱曲メドレー」 (カーレンバッハ)

- ・ Heimliche Liebe (秘めたる恋)
- ・ Der Lindenbaum (菩提樹)
- ・ Mein eigen soll sie sein (僕はすべて彼女のもの)
- ・ Untreue (不実)
- ・ Des Handwerksburschen Abschied (見習い職人の別れ)
- ・ Die Lorelei (ローレライ)
- ・ In der Ferne (遠きにありて)
- ・ Frische gesungen (もう一度歌おう)

2. 「Wien, du Stadt meiner Träume」

「ウィーン、わが夢の町」 (ズイーツインスキー)

ステージ2 ●楽団演奏 アコーデオン

ヴォルフガング・ヘルツレ

クラリネット・カウベル 上田 亜紀子

ステージ3 ●合唱

1. 「In München steht ein Hofbräuhaus」

(ミュンヘンにはホーフブロイ・ハウスがある)

2. 「Trink, trink, Brüderlein trink!」

(飲めや友よ)

3. 「Rosamunde」

(ビヤ樽ポルカ)

● 会場の皆さんとの全員合唱 (楽団伴奏・アムゼル)

1. 野ばら＊
2. ローレライ＊
3. 浜辺の歌＊
4. 「Trink, trink, Bruderlein trink!」 ドイツ語に挑戦!
5. 「Rosamunde」 日本語で楽しく!

*印は時間的制約で、歌えないこともあります。

ビヤ樽ポルカ (ローザムンデ)

ここにはゆかいな 顔ばかりがいる

悩みも消えるよ 涙もなくなる

きれいな女と 歌と踊りだけ

踊りはポルカ ポルカの踊り

いつも聞く あのウンパンパ

だれもかれも トノノ

捨てろよ うれいを

みんなで ラアデアデエイ

* ころがせ樽を—ゆかいにのんで

ころがせ樽を—みんなのビヤ樽

悩みをとばせ—歌をひびかせ

ビヤ樽をほして—うたおうよ

* 繰り返し

Trink, trink, Brüderlein, trink (飲めや友よ)

Text und Musik : W. Lindemann



Trink, trink, Brü-der-lein, trink, laß doch die
 トウリンク トウリンク ブリューダーライン トウリンク ラス ドッホ ティー

Sor-gen zu Haus! Trink, trink, Brü-der-lein, trink,
 ゾルゲン ツー ハウス トウリンク トウリンク ブリューダーライン トウリンク

laß doch die Sor-gen zu Haus! Mei - de den Kum - mer und
 ラス ドッホ ティー ゾルゲン ツー ハウス マイ デーデン クムマー ウントゥ

1.
 mei - de den Schmerz, dann ist das Le - ben ein Scherz!
 マイ デーデン シメルツ ダン イストゥ ダス レーベン アイン シェルツ

2.
 dann ist das Le - ben ein Scherz!
 ダン イストゥ ダス レーベン アイン シェルツ

EIN PROSIT (乾杯の歌)

アイン プロ-シットゥ



Ein Pro - sit ein Pro - sit der Ge - müt - lich - keit ein
 アイン プロ- スィットゥ アイン プロ- スィットゥ デア ゲ ミュー トゥ リッヒ カイトゥ アイン

Pro - sit ein Pro - sit der Ge - müt - lich - keit
 プロ- スィットゥ アイン プロ- スィットゥ デア ゲ ミュー トゥ リッヒ カイトゥ

ローレライ 野ばら

ジルヒヤー

ウェルナー

なじかは知らねど 心わびて
 昔のつたえは そぞろ身にしむ
 侘しく暮れゆく ラインの流れ
 入り日に 山々 赤くはゆる

わらべは見たり 野中のばら
 きよらにさける その色めでつ
 あかづながむ
 くれないにおう 野中のばら

浜辺の歌

林古溪作詞・成田為三作曲

あした浜辺を さまよえば
 昔のことぞ 忍(しの)ばるる
 風の音よ 雲のさまよ
 寄する波も 貝の色も

湘南日独協会混声合唱団 「アムゼル」 団員募集

指揮者 梶井 智子

練習日 第1・第3水曜日 1時半～3時半

場所 藤沢カトリック教会

連絡先 045-895-6845 (事務局 水谷)

日本人炭鉱マンのドイツ派遣

—あれから 50 年・歴史と現実—

講師：森 廣正（法政大学経済学部教授）

森先生は 90 年代から 00 年代の初頭にかけて 3 年間ドイツに滞在、主要テーマとして、演題でもある「日本人炭鉱マンのドイツ派遣」の研究にあたられた。講演は具体的な事例を交えながら、テーマ全体を、派遣にいたる経過、派遣計画と実行、その後の炭鉱マンの生活に分けて説明された。以下は、その概要である。

ほぼ 50 年前の昭和 31 年 7 月、ドイツにおける炭鉱労働力不足を背景に、ボンで「ルール石炭炭業における日本人炭鉱労働者の就労計画」が仮調印され、同年 11 月には正式調印にこぎつける二国間のスピード協定であった。本協定に基づき 500 人の日本人炭鉱マンの派遣が決定された。海外渡航がまだまだ珍しかった当時、派遣者の選考基準はびっくりする程厳格なものであった。まず、坑内経験 3 年以上の満 21 歳から 30 歳未満の独身者、身長 1.64 m・体重 56.3 kg 以上、勤務成績優秀者で志操堅固な人格円満者、更に、新制中学卒業以上の学歴でドイツ語の学習に耐え得る者などの厳しい条件が求められた。この条件をクリアすべく、或る派遣希望者は、妻を離婚してまで応募したほどであった。

その結果、昭和 32 年から 37 年にかけて、第 1 陣から第 5 陣まで総勢 436 人の炭鉱マンがドイツへ渡ったのである。派遣期間は 3 年の期限付き就労、派遣目的は、①先進炭業の技術習得 ②西欧組合民主主義を範とする労働組合対策 ③ドイツ産業と日独親善への寄与であった。

派遣先は、ルール工業地帯のハンボルンなどの 3 鉱山であった。然しながら当初は、「技術習得」か「出稼ぎ」か等の、派遣目的と現実とのズレや不満が日本人炭鉱マンの間に顕在化し、幾つかの打開策が講じられることとなった。その後、選考基準も緩和され、既婚者でも応募可能となった。

この派遣計画は、昭和 40 年の第 5 陣派遣者の帰国をもって終了することとなるが、派遣者のその後の生活も様々である。殆どの炭鉱マンは帰国することとなるが、炭鉱の斜陽化に伴い、半数以上が転職を余儀なくされた。一方、ドイツ人女性との結婚等により 32 人が現地に残留、7 人がカナダの鉱山へ赴任した。中には帰国後会社を退職し、再び単身渡航してドイツの炭鉱に戻った例もある。派遣終了時の国際情勢のキーワードは、「経済発展と人の移動」「韓国炭鉱労働者のドイツ派遣」「個々人にとっての派遣の

意義」等となろう。

森先生は、派遣炭鉱マンは勿論、ドイツ人炭鉱関係者や鉱山博物館への地道な面談や訪問などをして、この「国境を越えた人の移動」にスポットを当て、派遣事業の歴史と現実を一を冷静に見つめることにより、その今日の意味を問う姿勢を終始貫かれたように思われる。他方、派遣者個々人の経験や考え方も多様であるがゆえに、その全てを紹介することが不可能であることは言うまでもないが、個々の事例の報告に大変ご苦勞をされておられたことも事実である。最後に、或る派遣者の回想の一端に良く表れている、として先生が紹介された日本人炭鉱マンの言葉をお伝えしたい。

“Die Menschen sind ueberall gleich. Wo ich wohne, ist mein Zuhause.”

(2009 年 8 月 協会会員 能登 崇 記)

湘南日独協会 2009 年度活動予定

■会員懇話会 講演会「木のぬくもりに魅せられて」

—ドイツ木製工芸の話—

講師 中村一行氏（小さなミュージアム館長）

日時 10 月 24 日（土）18:00～21:00

会場 湘南アカデミアサロン（7F）

■第 66 回例会 講演会

シラー生誕 250 年 / 太宰治生誕 100 年記念

—音楽と朗読の会—

講師 宮下啓三氏（慶應義塾大学名誉教授）

日時 11 月 22 日（日）13:30～16:00

会場 湘南アカデミアサロン（7F）

会費 会員 / 一般 2000 円（要申込）

学生 / 20 歳以下 無料（要申込）

湘南日独協会のドイツ語講座 10 月期 後期クラス募集

クラス	講師	曜日・時間
上級	ラドケ先生	土曜 9:00～
中級	小笠原藤子先生	月曜 16:00～
初級	ラドケ先生	土曜 11:15～
入門	小笠原藤子先生	月曜 18:00～

※詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

TEL 0466-26-3028

★★ 湘南日独協会のホームページは ★★

URL : <http://jdg-shonan.ciao.jp/index.html>

「全国日独協会一覧」からもアクセスできます。